

AAS23-P03

会場:3 階ポスター会場

時間:4 月 28 日 18:15-19:30

ドコモ環境センサーネットワークによる稠密観測の取組みについて About the approach and the progress of the DoCoMo environmental sensor network

加納 佳代^{1*}; 宮島 亜希子¹; 吉川 義章¹; 坪谷 寿一¹; 東 邦昭²; 古本 淳一²

KANO, Kayo^{1*}; MIYAJIMA, Akiko¹; KIKKAWA, Yoshiaki¹; TSUBOYA, Hisakazu¹; HIGASHI, Kuniaki²; FURUMOTO, Jun-ichi²

¹ 株式会社 NTT ドコモ ライフサポートビジネス推進部, ² 京都大学 生存圏研究所

¹Division of life support business promotion, NTT DOCOMO Corporation, ²Research Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University

NTT ドコモでは 2008 年より自社無線基地局設備を活用して気象情報・環境情報の観測を行っており、現在全国 4,000 か所の環境センサーネットワークを展開している。

また、2012 年 10 月からは京都大学生存圏研究所と連携し、滋賀県の湖西地方に吹く強い局地風「比良おろし」の実態解明のため、より稠密な観測環境を整備してきた。

本発表においては、これまでの NTT ドコモによる稠密観測の取組みについて紹介を行う。

キーワード: 環境センサーネットワーク

Keywords: Environmental Sensor Network